

29Y-am03

次世代を担う若者への薬学教育の取り組み (IV) : 高大連携「医療・薬学」講座の開講

○杉原 多公通¹, 飯村 菜穂子¹, 星名 賢之助¹, 白崎 仁¹, 福原 正博¹,
酒巻 利行¹, 本澤 忍¹, 尾崎 昌宣¹, 影向 範昭¹, 北川 幸己¹(¹新潟薬大薬)

【目的】平成18年度より薬剤師国家試験受験資格が大学6年制の薬剤師養成課程を修了した者に与えられることになり、多くの大学では薬学部を4年制から6年制へと移行し対応してきた。同時に少子化や高齢化社会に伴い医薬品の適正使用の確立、医薬品の安全性の確保、医療制度の見直し等々、薬学に関連する問題や課題も山積されており、社会ニーズに瞬時に応える薬剤師が求められ、質の高い薬学教育、人材育成に力が注がれている。新潟薬科大学薬学部では、次世代を担う若者に対して「薬学」の魅力、「薬剤師」の職域の広さ、その重要性を丁寧に伝えるため、本学内で開講している薬学導入教育を中高生はもちろんのこと、一般の方々にも開放し、さらには科目等履修生としての単位を授与する取り組みを行った。講座の様子について受講生アンケートとともに報告する。

【講座計画・企画】講座名を高大連携『医療・薬学』講座とし、平成25年5月から8月の間、全10回の講義、6回の実験講座、これらに加えて医療現場における体験学習を企画し実施した。また本講座は新潟県が主催する「いきいき県民カレッジ」事業としてサポートもして頂いた。本講座は新潟県内に本学を含めた3会場と県外1会場にて開講し、全10回の講義や参加型授業を受講した学生のうち定められた出席数を得た受講生に対して単位認定試験の受験資格を与えた。

【結果・考察】講義、実験講座を受講した中高生は延べ人数にして約370名、一般人については約290名におよぶ参加者を得ることができ、広く薬学に親しんでもらうことができたと思われ、十分な広報、啓蒙活動になったと考える。受講生のうち約20名が単位認定試験の受験をし、「薬学への招待II(0.5単位)」、「科学と薬学I(0.5単位)」の単位取得ができた学生も多く見られた。